

ご挨拶

「室蘭工業大学の最先端研究設備を社会に」

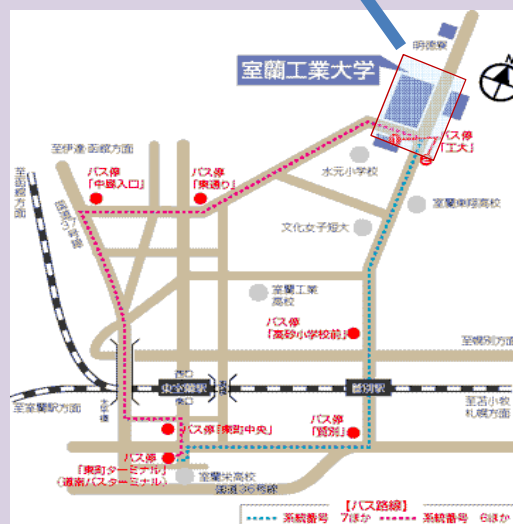
室蘭工業大学は、「ものづくりのまち」室蘭に拠点を置く材料メーカーとの深い繋がりから鉄鋼材料を主体とした材料研究及び教育に強みを有してきており、火力・原子力用材料を含むエネルギー材料開発研究・教育の北の拠点として重要な役割を担っております。民間企業等との共同研究は活発であり、とくに中小企業への貢献度は国公私大中でもトップクラスの評価を頂いており、北海道・東北エリアでの存在感を高めています。

このような中、当学における最先端の研究設備を社会に提供し学術・産業界に対する貢献をより一層促進するため、平成21年11月より文部科学省・先端研究施設共用促進事業を開始致しました。本事業をとおし、部局横断型の「環境・エネルギーシステム材料研究開発機構(OASIS)」の下に設置される「複合環境効果評価施設(FEEMA)」の複合環境下評価と微小試験片技術を両輪とした高度な材料創製・評価技術を学外の共用に供し、北海道・東北エリアの学術発展・地域産業振興・人材育成に貢献するとともに、OASISを世界トップレベルの先進エネルギー材料研究開発拠点へと成長させたいと考えております。

本事業が大きな成果を上げるべく関係者一同が最大限の努力と熱意を傾注し日々邁進していく所存ですので、ご協力およびご指導のほど宜しくお願い申し上げます。



室蘭工業大学 学長 佐藤一彦



〒050-8585 室蘭市水元町27番1

室蘭工業大学 OASIS/FEEMA計画支援室
(問合せ先: 准教授 岸本 弘立 Tel:0143-46-5615)

Organization of Advanced Sustainability Initiative
for Energy System/Material

Facility for Energy/Environmental Material Assessment

文部科学省 先端研究施設共用促進事業
「複合極限環境評価法による先進材料開発」

OASIS/FEEMA計画 キックオフ講演会



日時: 平成22年1月13日(水) 13:00~16:10
場所: 室蘭工業大学 大学会館 多目的ホール

プログラム

13:00-13:10	開会挨拶	室蘭工業大学・学長	佐藤 一彦
13:10-13:20	来賓挨拶	日本製鋼所 室蘭製作所・所長	村井 悦夫
13:20-13:50	特別講演:「世界のエネルギー情勢と原子力の安全・安心」	東京大学・名誉教授 日本保全学会・会長	宮 健三
13:50-14:20	特別講演:「超先進材料開発を支えるナノテクノロジー」	(独)物質・材料研究機構NIMS 理事	野田 哲二
14:20-14:50	基調講演:「先端研究施設の共用とイノベーション創出」	文部科学省 研究振興局 研究環境・産業連携課 新技術革新室・室長	能見 正
	休 憩		
15:00-15:20	「環境・エネルギーシステム材料研究開発機構実現に向けて」	室蘭工業大学・理事	松山 春男
15:20-15:40	「OASIS/FEEMA計画の概要」	室蘭工業大学・教授	香山 晃
15:40-16:00	「材料製造業がOASIS/FEEMA計画に期待するもの」	日本製鋼所 室蘭研究所・所長	伊藤 秀明
16:00-16:10	閉会挨拶	室蘭工業大学・教授	幸野 豊

FEEMA計画の概要

「先端研究施設共用促進事業」は、大学・独立行政法人等の保有する先端研究施設の共用を促進することにより、基礎研究からイノベーション創出に至るまでの科学技術活動全般の高度化を図るとともに国の研究開発投資の効率化を図ることを目的とした事業です。

室蘭工大の課題は「複合極限環境評価法による先進材料開発」ですが、FEEMA施設を先端施設として共用促進することにより、OASIS/FEEMA計画と呼称します。

本事業においてはFEEMA施設の複合環境下評価と微小試験片技術を両輪とした高度な材料創製・評価技術を中核とすることにより、幅広い環境・エネルギーシステム材料に関するイノベーション創出から新産業創出支援に向けて産業支援を推進することを目的とします。

本計画では、広く産業界より、FEEMA施設の利用を公募します。採択されると当施設の資源の提供(利用料金の免除、利用支援、技術指導・相談等)が受けられます。利用形態としては、(1)有償利用、(2)トライアル利用があり、当該事業に沿った申請課題の採択を優先しますが、新規分野や萌芽期にある新技術等の支援もトライアル利用形態を導入部として柔軟に受け付けます。詳しくは本事業HPや共用ナビ(文部科学省)の応募要領のページをご覧ください。



平成21年度の文部科学省・先端研究施設共用促進事業に本学の提案した「複合極限環境評価法による先進材料開発事業」(略称:FEEMA計画)が採択され、平成21年11月1日より活動を開始しました。

本事業は新たに設置される予定で現在検討中の部局横断型の「環境・エネルギーシステム材料研究開発機構(OASIS: Organization of Advanced Sustainability Initiative for Energy System/Material)」の下に設置される「複合環境効果評価施設(Facility for Energy and Environmental Material Assessment);略称FEEMA施設」を先端研究施設として学外の共用に供し、社会貢献を目指します。

本事業においてはFEEMA施設の複合環境下評価と微小試験片技術を両輪とした高度な材料創製・評価技術を中核とすることにより、北海道・東北の学術発展・地域産業振興・人材育成への貢献のみならず、全国的・世界的な先進エネルギー材料研究開発の拠点として関係各位のご指導とご協力を得て、成長していきたいと考えています。

本事業が文部科学省・先端研究施設共用促進事業の主旨を活かし、大きな成果を上げるべく、関係者一同が最大限の努力と熱意を傾注して邁進する所存です。

皆様のご協力とご指導を切望いたします。

最後に、本事業の発足に向けてご尽力いただいた本学関係者、環境・エネルギー材料関連研究者の各位に謝意を表します。また、本事業の実現に向けてご支援、ご鞭撻を賜った文部科学省関係者各位にも深甚なる感謝を申し上げます。

OASIS/FEEMA計画プロジェクト代表 香山 晃
(室蘭工業大学 教授)